

## 「基地削減交渉を」

米軍普天間飛行場の返還  
交渉をした田中均・元外務  
審議官の話

ロシアのウクライナ侵攻  
で世界の安全保障体制は変  
わっていく。米国はNATO  
を中心とした欧州の安保  
体制をより意識せざるを得  
ず、日本も安保体制を見直  
さなければならぬだろう。

変化する環境の中だから  
こそ、沖縄の米軍基地を減  
らす交渉をするべきだ。日



田中均さん

米安保の強化はいつそう重  
要で、一つの県に過度な負  
担を強いている状況は、そ  
の安定性から非常に危う  
い。普天間返還合意のきつ  
かけは、1995年の少女  
暴行事件で沖縄の反米感情  
が高まり、日米両政府が動

いたことにある。同様の事  
件や米軍機事故はいつ起き  
てもおかしくない。

ただ中国や北朝鮮の脅威  
もあり、沖縄が防衛面で重  
要なのは変わらない。基地  
を減らす一方、米軍と自衛  
隊の共同訓練を増やすべき  
だ。ロシアに近い北海道の  
防衛力を高めることも必要  
となる。米国と協議し豪州  
や韓国、ハワイなどを含め  
た兵力の再配置を検討して  
はどうか。物事を動かすに  
は環境が整うことが必要  
だ。国民全体が安保と沖縄  
の負担軽減を考え、政府を  
動かしてほしい。